

## 母からのアドバイス

日本へ来る前は私はいつも母と一緒に住んでいました。ですから国を離れる前の日は母はとて悲しそうでした。その日に母は私にいろいろ話して教えてくれました。母のしてくれた話で一番覚えていること、最高のことは以下のことだと思います。

「世界の中の誰もが夢を持っているだろう。

ろう じかにんじ

老若男女みんな夢を持っている。」

「夢を見ることは悪いことだと言う人もいる。

現実でないと考えられるからだ。また、誰かの生活を特に変えるものでもない。しかし、

私はそれに反対だ。確かに何も起こることなしに永遠に夢を見続けることができないのは

事実である。夢という目標は私に力を与えて

むひつ

くれるだろう。夢を持っていない人は挑戦や期待もなく、人生に彩りをそえることがない。

一方で、夢のある人は幸せで精神的に満たされた人生を送っているし、探求心を持っていて人生に彩りを与えるだろう。」

「夢は人の心からの願いであり、人生を変えるものである。夢を信じ続けられれば、必ず叶うだろう。というのも夢があれば無意識にその夢に向かって心も体も動いていくだろうと思からだよ。」

「ただ夢を見ているだけでは叶えられない。夢を叶えるには最善の努力をしないといけないのだ。叶えようとしていない夢は夢ではない。たとえ失敗してもかまわないのだ。それはまだその時でなかっただけかもしれないし、もっと良い方法があったかもしれない。」  
「だから、期待通りの結果がでるまで何度も挑戦すればいい。夢を叶えた時の気持ちはきっと最高だろうから。」

今母と離れて遠くにいても、母のアドバイスは私の心に刻まれています。このアドバイスを思い出す度に私を応援してくれている母がここにいるみたいです。ですから「一人でも新しい日本での生活を元気でしていますよ。」と母に言いたいです。